

履歷書

2012年 9月 8日現在



ふりがな	ほり	しょうこ	
氏 名			
堀 尚子			
出身地	年齢	※	
長崎生まれ／茨城育ち	(満 30 歳)	男 ・ 女	
参加した NICE ボランティア	分野		
国際ワークキャンプ、週末ワークキャンプ	福祉・教育・農業		
場所	日本（①国見、②えらぶ、③島根）		
(国・市町村まで記入)			満足度
受け入れ団体	NICE（日本国際ワークキャンプセンター）		95%
			活動のやりがい度
			100%

こんなボランティアでした
①小中学生が参加する国際理解ワークキャンプへの参加、地域のお祭りの手伝いや清掃活動など。
②農家に住み込んで、朝から晩まで菊やグラジオラスなど花の収穫・出荷のお手伝い。
③日韓ユースワークキャンプ。たくさん子どもたちと農作業や地域での活動を行う。

年齢	経歴
18歳	高校3年時、行くべき道に迷い、卒業後のモラトリアム期間に突入
19歳	アルバイトをしつつ自分が本当にやりたいことや学びたいことについてじっくり考える
20歳	ソーシャルワーカーになりたい！と、日本女子大学人間社会学部入学
22歳	夏、国見（現・雲仙）の国際ワークキャンプに参加
23歳	夏、国見（現・雲仙）の国際ワークキャンプにリーダーとして参加
	春、えらぶの国際ワークキャンプにリーダーとして参加
24歳	夏、島根県木次町の日韓ユースワークキャンプにリーダーとして参加
	大学で社会福祉士を取得、卒業後は母子生活支援施設に就職し、子どもの支援に携わる
27歳	結婚に伴い、高齢者施設のソーシャルワーカーに転職、現在に至る
趣味・特技	旅行、読書、体が柔らかいこと
座右の銘	「自分の感受性くらい自分で守ればかものよ」（茨木のり子）
参加までの旅行経験・ボランティア経験	
<p>もともと旅が好きで、アルバイトで稼いだお金はほぼ旅につぎ込んでいました。参加の前か後か、</p> <p>記憶が曖昧ですが、国内は各地、海外はインドネシアとかトルコなどは参加前に行っていたと思います。</p>	

記入上の注意 1: 鉛筆以外の黒または青の筆記具で記入。2: 数字はアラビア数字で、文字はくずさず正確に書く。

3:※印のところは、該当するものを○で囲む。

志望動機
福祉系の勉強をしていたこともあり、大学の夏休みにできるボランティアを探していました。インターネットで検索をしていたところ、NICE の活動を見つけ、「なにこれおもしろそう！！」と、即参加を決めていました。国内のワークキャンプは、日本にしながら英語で活動ができることも大きな魅力でした。リーダーを引き受けたのは、最初のワークキャンプがあまりうまくいかなかったと感じていたことが大きいのです。改善点がいくつも見えていたので、1 つずつ解決や予防をできるよう心がけながら臨みました。結果は、大成功！！リーダーとしてキャンプに参加する醍醐味を存分に味わうことができました。

行くまでに心配だったこと（どう乗り越えたか）
一番心配だったことは、参加者と英語でコミュニケーションがとれるかどうかでした。案の定、初めてのワークキャンプではあまり上手に話せず、悔しい思いが残りました。リーダーとして参加した翌年は、キャンプ開始までになるべく英語に触れる生活を送り、英語力アップ！メンバーとより深い関係を築くことができました。1 回目がだめでも、2 回目、3 回目と、どんどんチャレンジすればいいと思います。

家族・友人・学校・職場の反応（私はこうやって説得した！）
家族は、私が新しいことにチャレンジするときにはいつも応援してくれたので、特に反対などはなく、いってらっしゃいと笑顔で送り出してくれました。最初のワークキャンプは両親の出身地で、祖父母も親戚も遠くないところにいる環境だったので、逆に安心していただくくらいかもしれません。

ワークキャンプとその後の人生（進路決定、参加経験が役立っていること等）
ワークキャンプに参加して一番変わったことは、年齢や国籍、文化など、自分とは背景が違う人々とコミュニケーションをとりながら、1 つのものを作り上げる喜びを知ったことです。人や社会、世界とつながり、関わることのおもしろさを教えてもらいました。進路は大学入学前にじっくりと考えて決めたことだったので、変わることはありませんでしたが、社会福祉士という専門職として働いていく上で大切なことをいくつも学び、現在でも大きな影響を与えられていると感じます。NICE に出会わなければ、今の自分はありませんでした。活動を通じて出会った仲間や地域の人々とは、今も交流が続いており、何物にも代え難い財産となっています。

成長ダイアグラム ※	これから参加を考えている人へ、熱いメッセージを♪
	<p>迷っているなら絶対に参加してください。</p> <p>参加後、進もうと思っていた道が変わって、何かあっても責任はとれませんが（笑）、それはあなた自身にも、社会にも確実に良い方向であると信じています。ワークキャンプで出会った仲間や地域の人々との縁は、これからの長い人生で、必ず財産となります。参加を決めたら五感をフル稼働してとにかく思いっきり楽しんでください。そして、あなた自身がそれをまた誰かに伝えていけたら最高だと思います。</p>

※成長ダイアグラム（5＝とても得るものがあつた・良くなった。4＝まあまあ得るものがあつた・良くなった。3＝前と変わらなかった。影響なし。2＝前よりもやや劣るようになった・悪くなった。1＝前よりもずっと劣るようになった・悪くなった。）